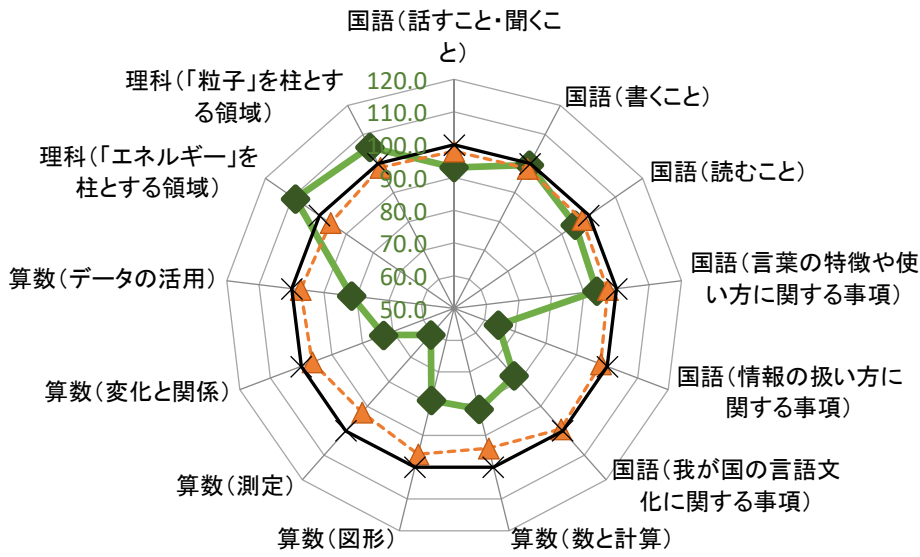
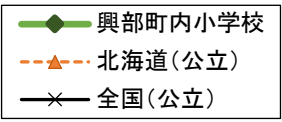


○ 教科に関する調査の状況

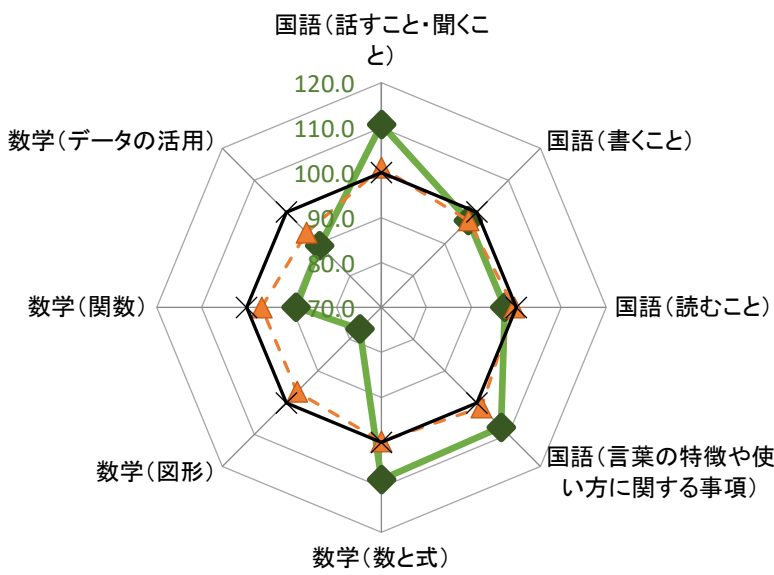
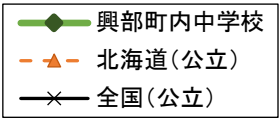
【レーダーチャート】

- ・教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの  
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)
- ・中学校理科の結果は、IRTスコアで表されるため、レーダーチャートに表示していません

小学校



中学校

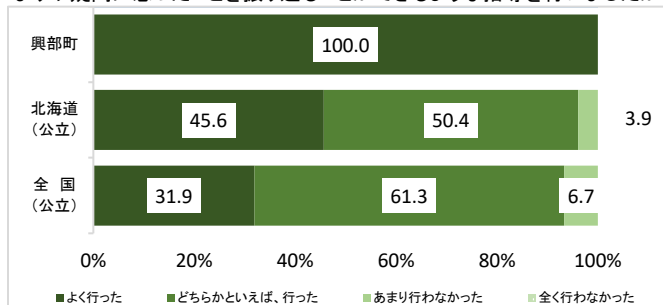


## ○ 質問調査の状況

### 小学校

#### <学校質問>

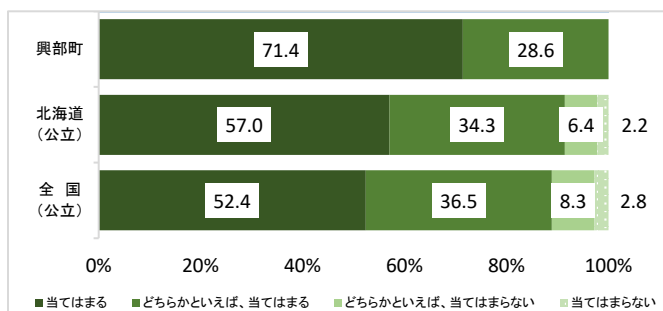
理科の授業において、課題解決の過程における自分や友だちの学びの深まりや疑問に思ったことを振り返ることができるような指導を行いましたか



### 小学校

#### <児童質問>

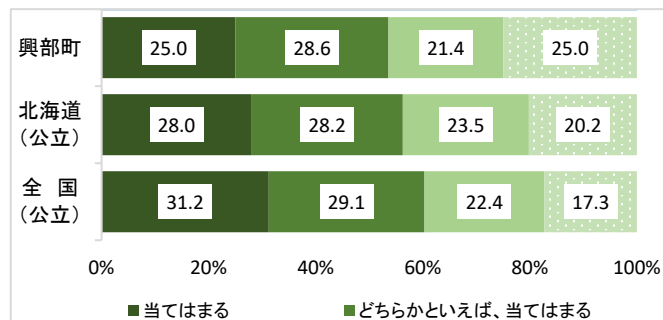
理科の授業の内容はよく分かりますか



### 小学校

#### <児童生徒質問>

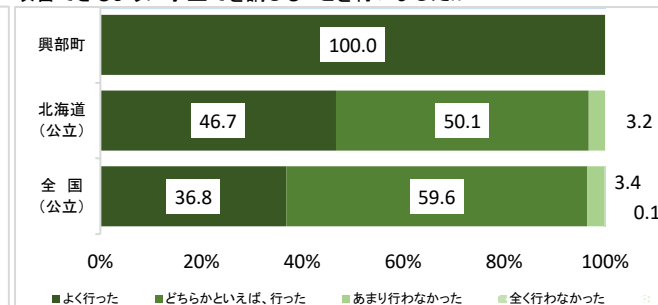
算数の勉強は得意ですか



### 中学校

#### <学校質問>

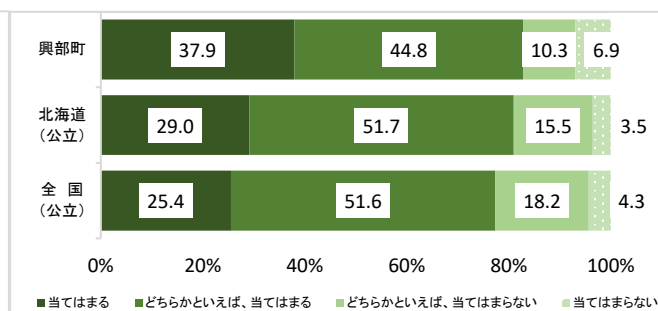
国語の授業において、生徒に学習の状況について改善すべき点を伝え、改善できるように手立てを講じることを行いましたか



### 中学校

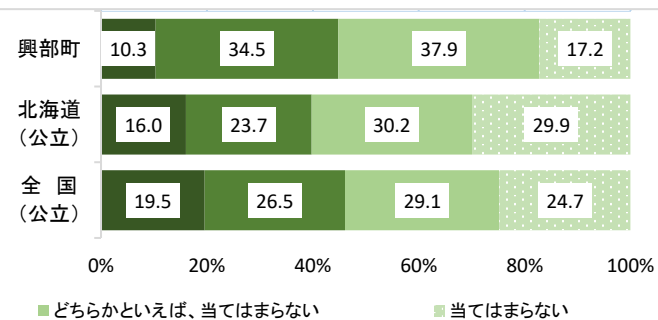
#### <生徒質問>

国語の授業の内容はよく分かりますか



### 中学校

数学の勉強は得意ですか



## ○ 調査結果の分析

- ・ 小学校の理科の授業において、課題解決の過程における自分や友だちの学びの深まりや疑問に思ったことを振り返ることができるような指導をよく行ったことにより、理科の授業の内容はよく分かったと回答した児童の割合が全国及び全道を上回ったとともに、理科の「粒子」を柱とする領域、「エネルギー」を柱とする領域で全国及び全道を上回ったと考えられる。

- ・ 中学校の国語の授業において、生徒に学習の状況について改善すべき点を伝え、改善できるように手立てを講じることをよく行ったことにより、国語の授業の内容はよく分かったと回答した生徒の割合が全国及び全道を上回ったとともに、国語の「話すこと・聞くこと」の領域、「言葉の特徴や使い方に関する事項」で全国及び全道を上回ったと考えられる。

- ・ 小学校算数及び中学校数学の平均正答率が全国及び全道を下回っている状況は、算数・数学の勉強は得意と回答した児童生徒の割合が全国及び全道を下回っていることが、要因の一つとして考えられる。

## ○ 今後の改善方策

- ・ 各種調査結果等の分析結果を踏まえた授業改善の推進
- ・ 「家庭学習の手引き」を活用した家庭での学習習慣の確立
- ・ ICTを活用した授業づくりの推進
- ・ 長期休業等を活用した学習サポートの充実